

議会常任委員会意見・事務局回答一覧

	意見	事務局回答
1	総合計画は湖南省のまちづくりの大きな方向性を示したもので、最上位の計画として理解しているが、下位にある中長期財政計画など個別計画との整合性は図られているのか。	後期基本計画（案）を策定するにあたり、全庁照会を行い各個別計画との整合性を図っています。
2	パンデミックのもとでリーマンショック時よりもさらに影響が長引くことも含め、経済状況の悪化や税収の減少という社会状況を、総論としてもう少し総合計画の中で、触れた方が良いのではないかと。人と人が触れ合える場面というものに気を使っていかなければならないのがここ1年、財政においては3、4年ぐらいい込まれる。後期5年計画の大半がそのような時期にあるということについて、しっかりと背景として明記されるべきである。	新型コロナウイルス感染症については、社会的・経済的にも影響が大きい状況を踏まえ、市民に対してもしっかりとコロナへの対策を打っていくという市の決意表明として、資料2 P41「まちの特性と課題」の安心・安全のまちづくりの部分で、「新型コロナウイルス感染症などの脅威に対して迅速な対応を行う」として記載しています。総合計画では、あらゆる場面を想定し個別具体的な名称を記載することは差し控えているところですが、総合計画審議会の総意のもと上記の文言を記載し、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながら基本計画に記載する施策をしっかりと講じていきます。
3	国策で幼児教育・保育の無償化をされているのに後期基本計画には一切触れていないというのは、市民が目にする計画としてはアンテナが弱いと受け取られるおそれがあるため記載が必要ではないか。	後期基本計画には、主に本市が推進する取組について記載しており、幼児教育・保育の無償化など画一的な国策の記載は差し控えています。
4	目標指標の基準値はどのような数値か。	ほとんどの数値は、令和元年度の実績値であり、最終的には「基準値（令和元年度）」と記載します。一部、基準年度が異なる数値などがあるため、その場合は補足説明を記載します。
5	資料4 P36の施策方針である「公共交通の充実」の目標指標である「コミュニティバス乗客数」について、健康寿命を延伸する中で、高齢者の免許返納で外出させる仕掛けなどの取組の連携について考えると目標値が減少になっているのはいかなるものか。	目標指標の「コミュニティバス乗客数」については、ご意見のとおり消極的目標値となっていますので、素案の目標値313,000人から315,500人に改めます。
6	資料2、P5（1）湖南省の概況 16行目 「国道1号バイパス」の記載について、国道1号から栗東湖南インターチェンジ方面への先線となる国道1号バイパスのことで表現されているが、記載として紛らわしい表現となっている。また、P6の地図は栗東湖南インターチェンジまで「国道1号」という表現になっている。	ご意見の2つの表現について、「国道1号（バイパス）」に記載を改めます。
7	資料4 P28第5章人権教育の推進について、誰もが自分らしく生きられる社会を目指して、ジェンダー平等を実現することは、それぞれの能力を認め合い生かす風土づくりに繋がると思う。全員が平等であることの記載はあるが、子供や保護者、教職員、地域の大人の方に、LGBT、性的マイノリティだけではなく、性の多様性に関する学びが必要であるため、5章の中で性の多様性について記載が必要と考える。	施策「人権教育・啓発の推進」の課題の「・・・自ら実践への行動を起こせるような人権教育が必要です。」の後に「また、ジェンダーの平等や性の多様性への理解が求められています。包摂（インクルーシブ）と多様性（ダイバーシティ）に力点を置いた共生のまちづくりを一層推進する必要があります。」を追加します。
8	資料4 P35の施策方針である「身近な公園・緑地の整備」の目標指標である「一人あたりの都市公園面積」については、公園が市民にとって環境整備されていて、使いやすく、しっかりと利用がされていることを表す目標の方が大事ではないか。スポーツの振興を進めていくためには、身近なところで体を動かす最低限の環境づくりを求められている中で、施策を「公園緑地の整備」ではなくて管理というものに置き換えることや、開発ありきでの公園設置の指標ではなく、市民の使いやすさを判断できる指標として変更すべきではないか。そうすることで、全体的な健康寿命やスポーツ振興も含めて繋がっていくと思われる。	都市公園は、休息、観賞、散歩、遊戯、運動等を行うため設置されるものであり、目標指標とした「一人あたりの都市公園面積」については、湖南省都市公園条例の中で面積基準を規定しており、市民の健康寿命およびスポーツ振興の推進として、第一に適切な面積を確保していきたいと考えます。また、施策「身近な公園と緑地の整備」の施策内容としては維持管理も含めて記載していることや、公園施設長寿命化計画などの個別計画により適切な維持管理を実施していきます。
9	資料4 P36の施策方針である「子育て支援の充実」の目標指標「子育て支援が必要な家庭への訪問件数」が新規で上がっているが、幼児保育の無償化に伴って、その保育の需要が高まっている状況の中で、湖南省は非常に待機児童が多いということと、その対策として、保育士不足や保育環境整備をどうするかが重要ではないか。この目標指数とともに大局的な子育て支援の充実の目標指標をピックアップすべきではないか。	施策方針「子育て支援の充実」の目標指標として「待機児童の人数」を追加し、基準値を54人、目標値を0人とします。
10	一般のアンケートで、「人権尊重のまちづくりを推進するために、とくに充実すべき事は何か」という設問で1番多かった回答は、「明日を担う子どもの人権確立の推進」であった。各学校における人権教育というところをもっと充実して欲しいという市民の声なのではないかなと思う。人生の長い間の中で、それぞれの年齢層に幅広くという形で、人権に対する教育を推進していこうという考えであるならば、資料4 P37の施策方針である「人権教育の推進」の目標値について、各学区の講座に30人参加という積算での210人では、あまりにも低い。子どもであればタブレットが支給され人権学習の動画も見ることが出来る。まちづくり協議会であっても動画で学ぶことも出来る。講義形式の指標ではなく、新しい角度で数値化を考えるべきである。例えば、動画の再生回数でもよい。	学校教育では、人生80年のうちわずか9年でしかないため、学校教育を離れた市民を対象としています。学校の人権教育では、人権教育基底プランに基づきカリキュラムが組まれています。計画の目標指標については、「人権啓発講座への参加者延べ人数」として目標数値を掲げておりますが、ご意見にもありますように、基準値である令和元年度の6回の講座に対する参加者数からの目標数値が低いことを再考し、従来の6回の講座の参加人数を引き上げられるよう取り組むことに併せ、インターネットを活用した新たな講座のあり方の検討を図ることから、目標数値を素案にある210人から360人に変更します。
11	資料4 P37の施策「スポーツ振興」の目標指標「スポーツイベント、教室に参画する人数」について、イベントや教室の参加者だけではなく、本当にそのスポーツを振興していこうと思えば、施設の老朽化やグラウンドの整備、管理、メンテナンスなどが重要である。市外、市内のスポーツ人口を増やすのであればハード面の充実を図るべきではないか。施設に満足していなければ、利用者は増えない。数値目標または文言での方向性として記載があれば、もう少し市民の方も理解や期待が出てくるのではないかと。	公共施設の整備、管理はスポーツ施設だけではなく、市内すべての公共施設のあり方を検討したうえで総合的に勘案し、施設管理計画で方向性を決定していきます。しかしながら、具体的な目標指標としては記載していませんが、資料4後期基本計画（素案）P32の施策「施設利用環境の充実」にある施策内容の1つとして、「施設の計画的な維持管理および効率的な施設管理の推進」と記載し、社会体育施設の方向性として記載しています。